

学習活動

# 文京区アカデミー推進計画

(令和4年度～令和8年度)

概要版

スポーツ

文化芸術

観光

国内・  
国際交流



文京区



# 計画の趣旨と考え方

## 1. 計画の概要

文京区アカデミー推進計画の目的は、区民をはじめ、本区に仕事、学業や観光で一時的に訪れる人や、本区にゆかりや関係のある人等の多様な人々が、様々な環境の中で、本区の有する豊かな資源に触れ、学び、交流することで、人と人のつながりや心の豊かさを獲得し、うるおいのある暮らしを送ることができるようにするものです。

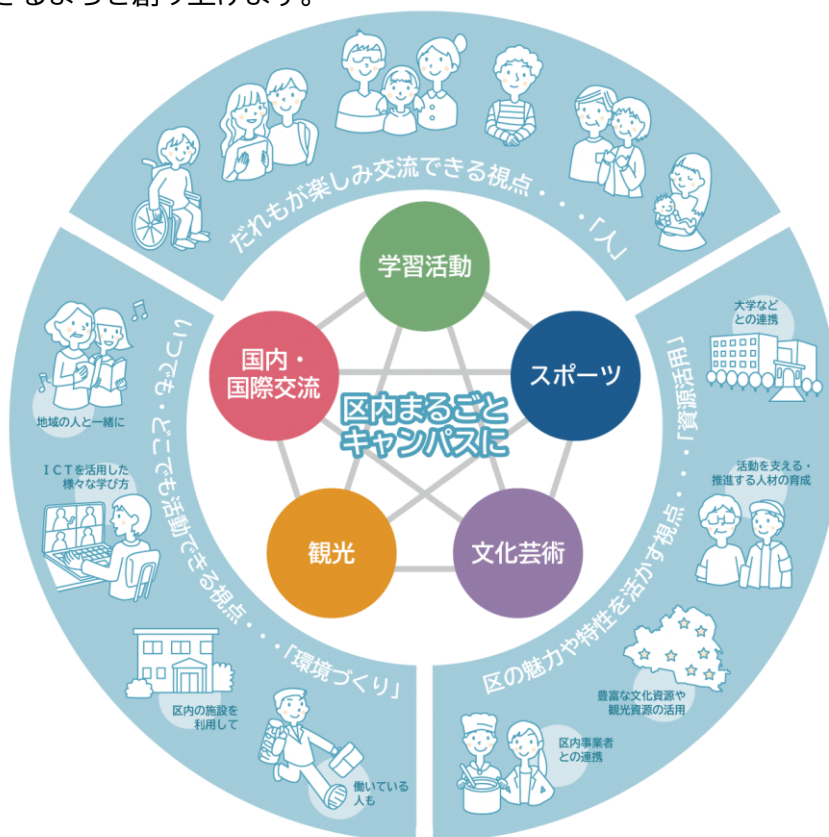
本計画は、令和2年度に策定された「文の京」総合戦略において掲げられている将来都市像「歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち「文の京」」の実現に向けて、学習活動、スポーツ、文化芸術、観光、国内・国際交流の5分野において、施策を体系的に展開するための事業計画です。

計画の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

## 2. 基本理念

将来にわたってだれもが、学び、交流していくためには、「区内まるごとキャンパスに」の考え方を踏襲し、著しく変化する社会情勢に柔軟に適応しながら、一人ひとりの多様性を活かし、だれもが・いつでも・どこでも人とのつながりと心の豊かさを育み、これまでの価値を継承するとともに、新たな価値の創造を目指す必要があります。

本計画では、「学習活動」「スポーツ」「文化芸術」「観光」「国内・国際交流」の5分野の取組について、東京2020大会を契機に推進された分野間の連携も重視しながら、大会の様々なレガシーを活かし、多様な地域課題に対応するとともに、主役となる一人ひとりが、いきいきと楽しく自分らしく学び、交流することのできるまちを創り上げます。



### 3. 計画の推進にあたって重視する3つの視点

基本理念である「区内まるごとキャンパスに」を実現するためには、本区の地域性や豊かな資源を基盤とし、一人ひとりの多様性を活かし、だれもが・いつでも・どこでも学習活動、スポーツ、文化芸術、観光、国内・国際交流の各分野の活動を楽しむことができる視点を重視して計画を推進することが必要です。

本計画では、令和元年度に実施した「文京区アカデミー推進計画に関する実態調査」（以下「実態調査」という。）の結果や文京区アカデミー推進協議会での議論などを踏まえて、以下の視点を重視しながら、異なる主体や分野をつなげ、相互に連携を図ることで新たな価値の創造を目指します。

#### （1）だれもが楽しみ交流できる視点・・・「人」

性別や年齢等の違いをはじめ、働いている人や子育て中の人といったライフスタイルの違い、人それぞれの興味・関心や能力の違いがあっても、だれもが各分野の活動を楽しみ交流できる取組を推進します。また、国内旅行者や訪日外国人などの交流人口だけではなく、区や区民と様々な方法で継続的に関わる「関係人口」の創出を推進します。

#### （2）いつでも・どこでも活動できる視点・・・「環境づくり」

区内のスポーツ施設、教育施設、文化施設などを利用した参加型の取組を継続するとともに、だれもが利用しやすい施設となるよう、環境づくりを推進します。また、平日・土日祝日、昼夜間を問わず、施設を訪れなくても活動を楽しめるよう、ICTを活用したオンライン形式の取組等も充実します。

#### （3）区の魅力や特性を活かす視点・・・「資源活用」

各分野における施設の充実や、活動を支える・推進する人材の育成、これまでの取組により蓄積されたノウハウ等の継承、さらには分野を横断した取組、区内事業者や大学、交流自治体など多様な主体と連携した取組等を推進します。

なお、各分野における活動内容の多様化に伴い、分野を幅広く定義する一方で、行政が担う役割や優先順位を明確にした上で、取組を推進します。

## 計画の体系

### 基本理念

区内まるごとキャンパスに

「文の京」、人とのつながりと心の豊かさを  
育みながら、一人ひとりの多様性を活かし、  
新たな価値を創造するまち

計画の推進にあたって  
重視する3つの視点



### 分野

学習活動

スポーツ

文化芸術

観光

国内・  
国際交流



だれもが楽しみ  
交流できる視点



いつでも・どこでも  
活動できる視点



区の魅力や  
特性を活かす視点

## 基本方針

① だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり

② 学び続けるための活動の支援

③ 学びの循環による地域づくり

① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充

② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり

③ スポーツの力を活用した地域づくり

① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】

② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】

③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】

④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進

① 区内まるごと周遊の促進

② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有

③ つながりから生まれる観光の推進

④ 何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備

① 国内交流自治体との交流促進と相互発展

② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり

③ 外国人が活躍できる環境づくり

# 1. 学習活動

学習活動は、前計画の生涯学習にあたり、趣味や生きがい、キャリアアップなどのために、自由に選択して行う学習など、子どもから大人まで生涯にわたって行うあらゆる学習のことと定義づけます。学びの中で得た知識を人のためや地域づくりに活かすことや、様々な啓発活動事業等に参加することも学習活動と言えます。一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、だれもが、生涯にわたって、いつでも、どこでも学習し、その成果を活かすことのできる社会の実現をねらいとしています。

## 1 だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり

日常の中の興味や関心、生活や地域の中で生まれた課題など、人々の学びのきっかけは様々です。だれもが自分の好きな時に学習活動を実践できるよう、多様なニーズに柔軟に対応しながら取組を充実させることが重要です。

区民が身近で楽しめるものから、専門的に学ぶことができるものまで幅広く質の高い学習機会を提供します。

また、性別や年齢、障害の有無、国籍等に関わらず、若年層や働き世代、子育て世代なども含め、個人の様々な状況に応じた学習を実践することができるよう、ICTを活用したオンライン講座など、新たな学習スタイルに対応した取組や、地域の学習拠点としての図書館の充実など、だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくりを推進します。

※現状値は記載がない場合、令和元年度時点の数値となります。

指標	現状値	目標値
1年間に学習活動を行った人の割合	67.2%	70.0%

### ア 多様なニーズに応じた学習機会の充実

- 様々な分野の講座・講演会等の実施

### イ だれもが学びを実践できる支援の充実

- 学習活動に関する効果的な情報発信と相談・紹介
- ライフスタイルに応じた学ぶ機会の提供
- 情報化社会に対応した学習活動の支援

### ウ 身近な学習環境の充実

- オンライン形式での講座等の実施
- 施設利用の利便性向上
- さまざまな媒体の資料の充実

### エ 地域の学習拠点としての図書館づくり

- 図書館資料の充実
- 図書館での学習機会の提供



文京アカデミア講座（現地見学）



図書館の地域資料特集コーナー

## 2 学び続けるための活動の支援

生涯にわたって学習活動を行うためには、個人の学びの動機や意欲はもちろんのこと、ともに学ぶことのできる仲間づくりや活動の成果を披露する場が重要です。

学びを通じて交流することは、学びが学びを引き寄せ、各々個人の持つ知識や技術、視点が新しい刺激となって、より充実した活動になることが期待されます。

また、学習や経験で得られた学びを発表したり、披露したりすることは、学びによる効果的な気づきの場でもあります。自らの学習を振り返り、やりがいと達成感を得ながら継続的に学習活動に取り組むことを支援します。

指標	現状値	目標値
社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数	161,731人	167,000人

### ア 区民の主体的な学習活動の支援

- 区民の自主的なサークル・団体への活動支援

### イ 活動の成果を披露できる場の充実

- 区民が学習活動の成果を披露するイベントの実施

### ウ 学びを通じた交流・仲間づくりの推進

- 交流事業の実施

## 3 学びの循環による地域づくり

知識や技術を他者に伝えていくことで、学びが人と人をつなぎ、新たな知を生み出すことができます。

学習活動を通じて知識やスキルを習得した区民が担い手となって地域で様々な活動を行い、学びが地域の中でつながっていく仕組みを構築することにより、地域コミュニティの活性化につなげていきます。

地域の文化や資源を活用した多様な学習機会を提供し、特色ある取組を充実します。

指標	現状値	目標値
これまでに学んだ内容を他人や地域のために活かした人の割合	19.1%	25.0%

### ア 地域の学びを促進する人材育成の推進

- 学習支援者育成のための講座等の実施
- 学習活動を通じたボランティア、サポーターの育成

### イ 人材活用の仕組みの構築

- 区民を講師とした講座等の実施
- 各種講座・展示会の企画への起用

### ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進

- 文京区を知るための講座等の実施
- 大学連携による事業の実施



生涯学習フェア



## 2. スポーツ

一定のルールが定められた競技スポーツだけでなく、ウォーキングやレクリエーションなどの気軽に楽しむことのできる活動等もスポーツととらえます。

区民の年齢、性別、障害の有無や体力等に左右されることなく、だれもが健康づくりのほか、仲間同士の交流やストレス解消等につながるスポーツに取り組むことで、いきいきと自分らしい生活を送っていくことを目指します。

### 1 だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充

ウォーキングイベントやウォーキングガイド・マップの作成、親子参加事業など、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の区民が参加できる事業を実施しているほか、様々なスポーツ観戦・体験イベント等を実施し、「する」「見る」「支える」スポーツの機会提供に努めています。生涯にわたって、心身ともに健康な生活を送れるよう、今後も年齢、性別、国籍、障害の有無、ライフスタイルや興味・関心の度合い等に関わらず、だれもがスポーツを身近に感じてスポーツを「する」機会を拡充します。

また、「見る」スポーツを通じて関心を持ち、楽しさを知るきっかけを充実していくとともに、「支える」スポーツへも積極的な参加を促し、ともに楽しむ機会を充実します。

指標	現状値	目標値
スポーツ実施率【スポーツをする】	54.9%	60.0%
スポーツ観戦率【スポーツを見る】	23.7% (直接観戦)	30.0%
スポーツボランティアの参加率【スポーツを支える】	10.7%	20.0%

#### ア スポーツの楽しさを知る機会の創出

- 区民が気軽にスポーツを体験できる機会の提供
- 主体的にスポーツを楽しむ区民に向けた機会の提供

#### イ ユニバーサルスポーツの普及振興

- ユニバーサルスポーツを体験する機会の提供
- 障害者スポーツを「支える」人材の育成

#### ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充

- プロスポーツ団体等と連携した観戦の場と機会の拡充
- 身近な場所でスポーツを観戦・応援する楽しさを実感する機会の提供

#### エ スポーツボランティア等の活動支援

- 「支えるスポーツ」の担い手の育成
- 障害者スポーツを「支える」人材の育成【再掲】

### 2 いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり

スポーツには、世代間交流や地域間交流の促進等も期待されています。そのためには、区民一人ひとりがスポーツに親しむことのできる環境の整備が必要なことから、スポーツリーダー派遣制度やニュースポーツ大会の実施のほか、施設の改築やバリアフリー化にも取り組んできました。だれもが利用しやすいと感じることができる施設整備を推進するとともに、様々な場所で日常的にスポーツに取り組めるよう、地域やコミュニティ単位でスポーツの場を充実します。

また、自己の能力や適性・興味等に合わせ主体的にスポーツに取り組めることも重要であるため、必要とする人に適切なタイミング、方法でスポーツに関する情報を提供するとともに、スポーツに親し



む人を適切にサポートできる指導者・団体の育成・技術強化に取り組み、区民のだれもが、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。

指標	現状値	目標値
「スポーツ活動を支える環境を整備すること」への満足度	36.3%	45.0%
スポーツ指導者(スポーツ推進委員・スポーツリーダー)派遣の実績件数	120件	135件

注)「スポーツ活動を支える環境を整備すること」への満足度の現状値は、「文京区アカデミー推進計画に関する実態調査」(令和元年度)での「スポーツ活動を支える環境を整備すること」への満足度に関する設問への「満足である」と「どちらかといえば満足である」の合計値。

#### ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備

- 多世代が気軽にスポーツを楽しむ機会の提供
- スポーツ施設の整備と活用促進

#### イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備

- スポーツに関する情報の発信
- 各種メディアとの連携推進
- スポーツに関する相談体制の整備

#### ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開

- スポーツを支える人材の活躍の場や機会の提供
- 主体的にスポーツを楽しむ区民に向けた機会の提供【再掲】

#### エ スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化

- スポーツ指導者等の育成

#### オ 心身の健康づくり

- 多様な区民の心身の健康増進

## 3 スポーツの力を活用した地域づくり

区民一人ひとりが心身ともに豊かな生活を送ること目指して、各種競技団体や組織と組織、地域と地域の交流・連携・協働を促進します。

スポーツの力を活用して地域コミュニティを醸成していくとともに、区内外の人にとって本区が魅力的なまちだと感じることをできるよう、スポーツ団体等との連携・協働に積極的に取り組むとともに、必要性を十分に見極め、一つ一つの内容を充実させることで、より上質な事業展開を図ります。

指標	現状値	目標値
スポーツ団体等との連携事業数	20件	23件
関係団体(パラスポーツ団体含む)との連携事業数	5件	7件
事業参加者の満足度	—	80%

※「—」については、本計画策定時に現状値を把握できていないものになります。

#### ア スポーツを通じた仲間づくりと地域づくり

- スポーツを通じた多様な区民の交流の促進
- スポーツを通じた仲間づくりの促進

#### イ プロスポーツ団体等との連携・協働

- プロスポーツ団体等と連携した観戦の場と機会の拡充【再掲】
- 身近な場所でスポーツを観戦・応援する楽しさを実感する機会の提供【再掲】
- トップアスリートとの連携強化

#### ウ 東京2020大会におけるレガシーの継承と活用

- 東京2020大会等のレガシーの継承
- スポーツを通じた地域間交流の機会の提供

#### エ 人材・組織(町会・地域クラブ)との連携・協働

- 地域団体等と連携したスポーツに関する情報の展開
- 地域団体等と連携したスポーツを楽しむ機会の提供

#### オ スポーツの魅力を体感する機会の充実

- 多様な主体によるスポーツの力の活用



はじめての親子フットサル教室

# 3. 文化芸術

文化芸術は、「みる（鑑賞・観覧等）」、「する（活動・参加等）」、「ささえる（普及・継承・指導等）」と分けて定義づけています。なお、文化芸術の主体は広く、性別・年齢・障害の有無等によって様々です。「みる」は、展示物や上演・上映される作品を観る・聴く・感じることを指し、基本的には「みる」ために自ら会場に向かう活動を伴うものを指しますが、オンライン視聴等も主体的に「みる」行為にあたり定義の拡大が進んでいます。「する」は、自宅や教室、サークル等での趣味の活動、展示会・公演等の開催や出展・出演等、自ら行う活動を指し、プロから愛好家（個人・団体）まで、レベル別の視点も含まれますが、体験等の一時的なものではなく、継続して行うことが必要となります。「ささえる」は、子ども達や後進への文化芸術の継承やボランティア等による指導育成・運営への参加等を指します。

## 1 だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる（鑑賞・観覧等）】

性別、年齢や障害の有無・国籍等によらず、また、新型コロナウイルス感染症の影響等も踏まえ、場所や時間等に関わらず文化芸術を鑑賞できることは重要です。そのため、オンライン等も活用しながら、区民のだれもが場所や時間を問わずに、文化芸術を鑑賞できる環境づくりを推進します。

指標	現状値	目標値
1年間に文化芸術を鑑賞した人の割合	81.2%	83.0%
文化事業への参加者・来場者数	22,595人	25,000人

### ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実

- 文化芸術の鑑賞機会の提供
- 多様な文化芸術に触れる機会の創出

### イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供

- 大学等との連携による文化イベントの実施
- 時間や場所を選ばない鑑賞機会の充実

### ウ 活動につながる契機としての鑑賞機会の提供

- 活動につながる文化芸術の鑑賞機会の提供

## 2 だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する（活動・参加等）】

区民がそれぞれの興味・関心やレベルに応じて、文化芸術活動を楽しむことができるよう、だれもが気軽に文化芸術活動を行うことのできる環境づくりを推進します。

指標	現状値	目標値
1年間に文化芸術活動をした人の割合	32.4%	40.0%

### ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実

- 大学との連携による文化イベントの実施【再掲】
- 区にゆかりがある文化の体験機会の提供
- 観客参加型講演の実施

### イ 市民団体等の活動に対する支援の充実

- 区民の自主的なサークル・団体への活動支援【再掲】

### ウ 文化芸術活動の場の提供

- 文化芸術活動の機会の提供
- 文化芸術活動の場の提供

### 3

## 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる（普及・継承・指導等）】

これまで地域で生まれ、受け継がれてきた文化や芸術を普及・継承していくためには、子ども達を含む次代を担う人材を育成することが重要です。そのため、次代を担う層が、文化芸術に親しむことのできる機会を充実させるとともに、地域の多様な主体と連携・協力をしながら、文化芸術の担い手育成を推進し、貴重な文化資源を次代へと継承していきます。

指標	現状値	目標値
若年層(20歳未満)の文化祭・各種つどい・大会への出品及び出演者数	—	200人
区文化事業への若年層(20歳未満)の参加者数	—	1,500人

※「—」については、本計画策定時に現状値を把握できていないものになります。

#### ア 次代を担う層が文化芸術への関心を持つきっかけとなる機会の充実

- 文化芸術の鑑賞及び発表の機会の提供
- 関係団体との協力による文化芸術プログラムの実施

#### イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成

- 文化芸術事業の協働
- 関係団体との協力による文化芸術プログラムの実施【再掲】

#### ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承

- 文化芸術事業の継続実施

### 4

## 地域の資源を活かしたまちづくりの推進

区の様々な文化資源を観光や産業など他分野と連携して活用することにより、地域の特色ある文化資源の魅力を生かすとともに、地域の文化資源を活用したまちづくりを推進します。

指標	現状値	目標値
文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館の区民認知度	—	70.0%
文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館来館者の展示に関する満足度	82.3% (令和3年度)	90.0%

※「—」については、本計画策定時に現状値を把握できていないものになります。

#### ア 文化資源を活用した事業の推進

- 文化資源を体験する機会の充実
- 他分野との連携による文化資源の発信・活用
- 資料の保管に関する検討

#### イ 特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信

- 文京ゆかりの文化人顕彰の実施
- 区の歴史、文化に関する調査研究の実施
- 区内の文化財、文化遺産等の保護・活用
- 文の京ミュージアムネットワークの構築

#### ウ 地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進

- 文化資源を活用した地域との連携
- 文化的なつながりを通じた連携及び発信



BUNKYO SIENA POPS  
わが青春のポピュラーミュージック！



## 4. 観光

観光とは、余暇時間の中で、「触れ合い」「学び」「遊ぶ」ことなどを目的とするもので、時代とともに多様化しています。観光は、旅先の風景や観光スポット等を見るだけでなく、教育やスポーツ、健康等のテーマ性の強い体験型の新しい旅行も、観光の一つのかたちと考えます。

本区における観光振興は、自然や社会環境と共生すること等に留意し、様々な観光のかたちを通じてだれもが気軽に楽しみ、区民と来訪者の交流を生み出し、地域に活力を与え、まちに対する愛着や誇りを醸成することをねらいとします。

### 1 区内まるごと周遊の促進

本区の多彩な観光資源を継承し、磨き上げ、地域の魅力を高めます。また、区民や来訪者、外国人等の様々な視点や他分野との連携、ICTを活用した観光促進等により、独自の観光資源を創出し、育み、持続可能な観光を推進します。

指標	現状値	目標値
文京区の他者推奨意向	84.1%	85.0%

注) 現状値は、「文京区アカデミー推進計画に関する実態調査」(令和元年度)での「あなたは、文京区を訪れた観光客(国内外問わず)に対して、文京区のまちを紹介したいと思いませんか。」という設問への「紹介したい」と「どちらかといえば紹介したい」の合計値。

#### ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出

- 区内の魅力を発見するためのイベントの開催
- 観光資源の多面的な活用

#### イ マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上

- 多様なニーズに対応した区内周遊ルートの提案

### 2 いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有

本区の情報を多様な媒体を通じて国内外に発信し、旅マエ・旅ナカ・旅アトのいつでも、どこからでも手軽に必要な情報を入手できる環境を整え、本区に対する関心や来訪意欲を高めます。また、区民や来訪者、外国人等が、区の観光資源等に関する情報を共有し、自発的な情報発信を促すことで、区の観光情報の発信力を底上げします。

指標	現状値	目標値
文京区観光協会のホームページの新規ユーザー	44,115 件	50,000 件

#### ア 観光情報の収集・発信力の充実と共有促進

- 各主体と連携した観光情報の収集・発信力の充実
- 区民や来訪者等の共感の輪を広げる情報の発信

#### イ 情報発信環境の整備

- 観光情報の多言語化・WEB化や観光インフォメーションの機能強化



### 3 つながりから生まれる観光の推進

これまで交流機会が少なかったスポーツや文化芸術等、他分野との関係性を深めるとともに、国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等とより一層の交流を促進していくことにより、横断的な取組を推進していきます。様々な連携・協力によりもたらされる、これまでとは異なる視点や発想を観光施策に活かし、新しい「文の京」の観光につなげます。

指標	現状値	目標値
協定等締結自治体との連携実績	57件	70件

#### ア 他分野（スポーツ、文化芸術等）との融合

- 他分野との連携・融合による事業展開

#### イ 国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力

- 広域連携・協働事業の実施

### 4 何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備

だれもが安心して快適に区内観光を楽しめる受入環境を整備します。また、多様な人材によるボランティアを育成し、おもてなしの心を醸成することで、区民はもとより国内外からの来訪者が本区に愛着を感じ、再訪したくなる、受け入れ体制を整えます。

指標	現状値	目標値
「だれもが観光に訪れたいくなるまちを支える仕組みをつくること」への満足度	区民:38.9% 事業参加者:76.0%	区民:50.0% 事業参加者:81.0%

注) 現状値は、「文京区アカデミー推進計画に関する実態調査」(令和元年度)での「だれもが観光に訪れたいくなるまちを支える仕組みをつくること」への満足度に関する設問への「満足である」と「どちらかといえば満足である」の合計値。

#### ア 観光客の受入基盤整備

- 旅行者の利便性向上を図る事業の推進

#### イ 多様な人材の育成・活用

- 多様な観光ニーズに対応できる観光ガイドの充実



文京さくらまつりへの交流自治体の出店  
(播磨坂さくら並木)



文京区観光ガイドツアー

## 5. 国内・国際交流

都市交流は「国内交流」と「国際交流」とを分けて定義づけます。「国内交流」は、文京区と協定等を締結している自治体を中心に住民・地域団体等と、文化やスポーツ、自然体験等の幅広い分野の活動や食や特産品を通じて交流を行うことを指し、住民相互の理解促進、双方の地域経済の活性化、区にはない自然や文化を体験・経験する機会や区の魅力を再発見する機会創出等につなげることをねらいとします。「国際交流」は、姉妹都市・友好都市との交流を含め、外国人と区や団体が行うイベントや事業等を通じて区民と交流を行うことを指し、異国文化の理解促進、双方の地域社会の活性化、国際化の進展、在住・在学外国人との交流促進などにつなげることをねらいとします。

### 1 国内交流自治体との交流促進と相互発展

本区では、歴史的・文化的ゆかりや共通点等がある国内の自治体と各種協定等を結び、住民間の交流により相互に魅力を高め合い、ともに発展・成長していくことを目指しています。

交流自治体の住民と区民の交流を促進するため、ICTを活用してその自治体の魅力を発信し周知を図り、交流機会をより一層増やすとともに、関係各課との連携を通じて交流機会のさらなる充実も図ります。また、交流自治体と本区のみでの交流に留まらず、交流自治体間の連携や交流も促し、相互に地域の活性化を図ります。

指標	現状値	目標値
国内交流自治体の認知度	18.5%	25.0%

#### ア 国内交流自治体の魅力発信とPRの充実

- 国内交流自治体の魅力を紹介する機会の創出
- 国内交流自治体が主催する文京区の魅力発信や区民との交流イベントの支援

#### イ 国内交流自治体との交流の活性化

- 国内交流自治体の資源や魅力に触れる交流機会の充実
- 防災等を通じた国内交流自治体との連携
- 国内交流自治体間の交流支援

#### ウ 横断的な交流事業の展開

- 地域の伝統文化や慣習の学びを通じた交流機会の充実
- 防災等を通じた国内交流自治体との連携【再掲】

### 2 国際理解を育み定着に向けた機会づくり

本区では、世界平和と相互理解並びに両国の友好関係の促進に寄与することを目的に、カイザーラウテルン市（ドイツ）、イスタンブール市バイオウル区（トルコ）、北京市通州区（中国）と姉妹都市・友好都市を提携しています。また、その他海外各都市との間で訪問団の派遣・受入れ、文化交流等を行っています。

このような海外各都市との国際交流をさらに充実させるため、区民および区内在住・在学外国人の興味・関心に応じた取組を実施します。

さらに、区民に対して国際交流のきっかけをつくるだけでなく、他者や異文化理解の促進と定着を図るため、体験から定期的な活動の継続までの連続性を持たせるための情報発信や関係各課との連携による取組を実施します。

指標	現状値	目標値
外国人と交流している区民の割合	25.2%	35.0%
海外の姉妹都市・友好都市の認知度	26.1%	35.0%

#### ア 海外都市との交流の活性化

- 姉妹都市・友好都市との交流機会の充実
- 姉妹都市・友好都市の周知

#### ウ 横断的な交流事業の展開

- 学びを通じた国際交流の促進

#### イ 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有

- 国際理解の定着に向けた効果的な取組ニーズの把握
- 国際交流の関心・関わり度合いを踏まえた情報の発信
- 国際理解を図るための取組

## 3 外国人が活躍できる環境づくり

本区には1万人を超える外国人が居住しています（令和3年度現在）。区内在住・在学の外国人が住みやすく、暮らしを楽しむことができ、さらに活躍できる活力のあるまちを目指すためには、日本の文化や風習の理解を促すとともに、日々の暮らしに必要な言語の支援も必要です。

本区から発信する情報や行政サービスにおける各種手続きなどの場面において、多言語化及びやさしい日本語の活用による支援を継続かつ充実します。

また、区内在住・在学外国人がまちへの愛着を持っていきいきと本区で暮らせるように、区民や区外から訪れる人々との交流の場や自身の経験を活かせる場についての情報を提供します。

指標	現状値	目標値
外国人における文京区への愛着度	—	50.0%

※「—」については、本計画策定時に現状値を把握できていないものになります。

#### ア 多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実

- 外国人が暮らし続けるために必要な多言語対応の継続・充実
- 外国人の過ごしやすさに配慮した言語環境の充実

#### イ 外国人の活躍できる場の提供支援

- 地域の活動に外国人が参画するきっかけづくり
- 外国人とともに創る異文化交流の機会の創出



国際交流フェスタベナン共和国紹介ブース



# 計画の推進体制と評価の考え方

## 1. 計画の推進体制

本計画は、区と区民等の「連携・協働」に基づき推進するため、庁内のみならず、区民等からなる会議体による事業評価が必要です。

そこで、前計画に引き続き、各種事業を推進するための庁内組織である「文京区アカデミー推進本部」と、評価を行うための区民参画組織である「文京区アカデミー推進協議会」からなる推進体制をとります。

「文京区アカデミー推進本部」では、アカデミー推進部を中心として関連する各部局との連携・協力を充実させ、本計画に定めた各種活動の活性化のための施策・事業を総合的に推進していきます。一方、「文京区アカデミー推進協議会」では、次年度の事業実施に活かすため、毎年度、計画における事業の実施状況について、区民目線で点検及び評価を行います。

## 2. 評価の考え方とPDCAサイクル

今までのアカデミー推進計画は、毎年度、主に事業の実施状況に着目し、定性的な評価を行ってきましたが、このような方法による評価では、事業自体の進捗状況は把握できるものの、事業によって区民にもたらされる成果がわかりにくいという課題がありました。

本計画では、定性的かつ定量的な方法で計画の達成状況を評価するため、可能な範囲で指標とその目標値を設定します。指標とその目標値は、各事業により区民にもたらされる成果であること、区民を対象に行う実態調査の結果等、既存の調査結果から収集できるものを優先的に活用することを基本としています。

本計画を着実に実行するため、5分野の基本方針や施策等を定め（Plan）、区民や関係団体等と協働して事業を実施し（Do）、事業の実施状況や指標の達成状況を踏まえた点検・評価を行うことで（Check）、次年度以降の事業の改善や計画の見直しを行います（Action）。

このようにPDCAサイクルを実行することで、実効性のある事業の企画・実施につなげ、各分野における基本方針、そして本計画の基本理念である「区内まるごとキャンパスに - 「文の京」、人とのつながりと心の豊かさを育みながら、一人ひとりの多様性を活かし、新たな価値を創造するまち -」の実現を目指します。

文京区アカデミー推進計画（令和4年度～8年度）＜概要版＞ 令和4年3月

発行／文京区アカデミー推進部 アカデミー推進課

〒112-8555 東京都文京区春日1丁目16番21号

電話番号：03-5803-1307

印刷物番号 D0121055